

環境分野の研究を推進

環境研究推進本部

下水道機能復旧研究官 内田 勉 水環境研究官 松尾 和巳 道路環境研究室長 井上 隆司
 津波災害研究官 岡本 修 住宅情報システム研究官 足永 靖信 緑化生態研究室長 舟久保 敏



(キーワード) 環境、エネルギー、地球温暖化、CO2、生物生息地、土地利用、居住環境、廃棄物

1. はじめに

国総研の各研究部・センターは、国土マネジメントに関する研究の一環として、環境に関わりのある研究を進めている。環境研究推進本部は、国総研が実施する各分野の環境研究について、情報の共有と対外的発信を図るとともに、分野横断的な調査研究等の推進に寄与することとしている。

2. 環境分野の研究

国総研における環境研究は多岐にわたる。近年は、エネルギー、地球温暖化を始め、生物生息地、土地利用・居住環境、廃棄物などの政策課題に対応し、研究が進められており、現在、これら研究のうち一定成果を公表済みものを中心に一覧を整理しているところである。

3. 研究の推進

環境研究推進本部は、国総研における環境分野の研究を、適切な機会を通じてアピールすることに取り組んでいる。その一つとして、環境研究に携わる国の施設等機関、国立研究開発法人及び国立大学法人の13研究機関が一堂に会して開催している環境研究シンポジウムにおいて、全体テーマ『レジリエントな社会・国土を創る環境研究』に関する取組等についての講演やポスター発表を行った(写真及び図)。

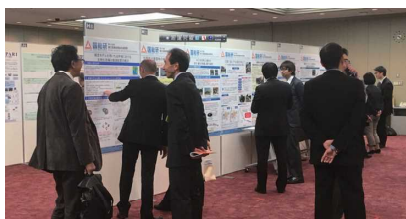


写真 環境研究シンポジウムでの研究紹介の様子

- 【河川研究部】Cバンドレーダ雨量計の高性能化によるXRAIN雨量観測の高度化
- 【土砂災害研究部】衛星リモートセンシング技術を用いた大規模土砂災害監視手法
- 【道路構造物研究部】インフラ間の相互依存構造を考慮した災害復旧シミュレーション
- 【都市研究部】地震時の市街地火災発生時における密集市街地の防災性能評価のための技術開発
- 【下水道研究部】災害に強い下水道を目指して～下水道管の耐震化優先度評価の開発～
- 【社会資本マネジメント研究センター】みどりを活用した都市の防災・減災対策の推進に関する研究
- 【建築研究部】災害拠点建築物の機能継続技術の開発
- 【沿岸海洋・防災研究部】概念モデルを用いた沿岸域における生物生息場の最適配置の検討

図 環境研究シンポジウムでの研究紹介一覧

また、環境研究に関する情報交換を行い、研究者の知見を広げ、相互交流を促し、一層効果的に研究推進を図るため、研究交流会を重ねている。2016年度は“地球温暖化対策(緩和策)にかかる評価手法の開発”をテーマに異なる分野間で互いの研究内容の紹介を行ったほか、新たな試みとして“グリーンインフラを活用した国土・地域づくり”をテーマに外部講師との意見交換を通じて今後の研究課題を模索する機会を設けた。

このほか、環境分野の研究者名簿の整備、ホームページ等による情報発信に取り組んでいる。

4. 今後の展開

環境分野の研究は、防災・減災の取組等と同様、国土交通省の使命である将来にわたる持続的な国土・社会づくりに大きく関わっている。

環境研究推進本部は、引き続き環境分野に係る今後の研究のあり方を追究しその推進を図るとともに、広く研究者や行政機関、国民の皆様にも、国総研の最新の環境研究の成果を発信するよう努めていく。

☞ 詳細情報はこちら

環境研究推進本部HP

http://www.nilim.go.jp/japanese/organization/k_honbu/indexkankyuu.htm